

2020 年 11 月 24 日

書式変更: 蛍光ペン

「当センターでの精神疾患を有する肺癌患者での精神疾患が治療選択と結果に及ぼす因子についての検討」

1. 研究の対象

(1) 対象患者

2016 年 1 月 1 日から 2019 年 12 月 31 日までに当センターで精神疾患を有し肺癌と診断された患者

(2) 予定症例数

14 症例

2. 研究目的・方法

「目的」 現在、精神疾患は我が国の定める「5 大疾患」に含まれており国を挙げての対策が講じられている。また 2019 年に国立がん研究センターが発表した最新のがん統計では肺癌は癌全体の中で罹患数第 3 位・死亡数第 1 位となっており、精神疾患を有し肺癌を発症する患者は少なくないを考える。しかし精神疾患を有する患者はその背景の複雑さから治療のみならず精査も敬遠されることが多く、その実態についてのまとまった報告は少ない。今回、我々は当院センターでの精神疾患を有する肺癌患者での精神疾患が治療選択と結果に及ぼす因子について後方視的に検討し、適切な診療の手助けとなる臨床的因子を抽出する。

「方法」 後向き観察研究

電子カルテ上で年齢・性別・精神疾患の詳細、投薬内容、合併症の詳細、社会的背景の詳細(キーパーソンの有無など)、治療選択の詳細、治療中の有害事象、治療結果などの情報収集をした。

「研究期間」 承認後 ~ 2021 年 5 月 31 日

書式変更: 蛍光ペン

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報: 診断名、年齢、性別、有する精神疾患の詳細、投薬内容、合併症の詳細、社会背景(キーパーソンの有無など)の詳細、治療内容、治療結果 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代

理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

大阪市住吉区万代東 3-1-56

大阪急性期・総合医療センター呼吸器内科

研究責任者:主任部長 上野 清伸

電話 06-6692-1201(代)